

車も時間が経つと、人間の肌と同じではじかなくなってくる…。お手入れが大事なんですよね、車も人間も。

1981年から1983年まで放送されたバラエティ番組「欽ドン! 悪い子悪い子普通の子」でブレイクをし、以降、俳優、タレントや司会などマルチな才能で活躍されている山口さん。滑らかな語り口で場を和ませながら、車の話から芝居の話までユーモアたっぷりに語っていただきました。

# 山口 良一

RYOICHI YAMAGUCHI

1955年3月27日生まれ。広島県出身。1979年、劇団東京ヴォードヴィルショーに入団し、俳優としてテレビや舞台で活動。1981年には「欽ドン! 悪い子悪い子普通の子」に良い子役で出演し、イモ欽トリオの一員としてブレイク。以後、タレント・リポーター、司会者などマルチに活躍。埼玉県小鹿野町の観光バイク大使なども務めている。



見た瞬間に「あ、キレイ!」

水はじきが強力で

汚れも落ちるってすごいですね!

いやあ、本当にびっくりしました。ぱっと見て、ザラつきが分かるくらいに光沢がなかったんですけど、最初に見た瞬間に「あ、キレイ!」と感じましたね。輝きが普段とぜんぜん違います。露天駐車しているんですけど、砂ぼこりや汚れがすぐ付いちゃって。黄色いボディなので黒い縦縞の汚れが付いてくると、広島出身だからカーブファンなんですけどタイガースファンみたいに

なっちゃうんです(笑)。洗っても洗ってもキリがないんですよ。かといって毎日洗車するのも、近所の人から「また山口さん、洗車してるよ。カパーかけるよ。」なんて思われると恥ずかしいし、水かけたり拭いたりするのは結構大変なんです。忙しいときは洗車機に入れたりもするんですけど、結局すぐにまた汚れちゃう。今回はじめてコーティングをしたんですけど、とても10年以上乗っている車には見えませんね。砂ぼこりや汚れも水で落ちやすくなるんですよ。水はじきがすごいから汚れも一緒に落ちてしまうとはすごいですね。車も時間が経つと、人間の肌と同じではじかなくなってくるんですよ。若い人の肌は水をはじいて「コロコロ」と玉になるけど、おじさんになるとそうはいかない(笑)。お手入れが大事なんですよ、車も人間も。

こんなにキレイになったので、

しばらく買い換えるのは

我慢して乗り続けます(笑)

新車の時にコーティングをやっておくと本当はいいんだろうね。コーティングは知り合いから「いいよ」と聞いたりにして気になってはいたんだけど、やるまでにはいってなかったです。本当にキレイになったし、なんかエンジンの調子も良くなった気分になるよ

ね。でもこのキレイな状態をうちの奥さんが見たら、確実に車を買って換える話の遠のくわけですよ(笑)。「キレイになっただじゃない! まだ乗れるからいいじゃない!」ということになるでしょう。まだしばらくは乗ることにします(笑)。

景色を眺めながら、ペダルを漕いで無心になる

自転車の魅力

最近、車にも良く乗るようになりましたが、オートバイは、原付に乗り始めたころから数えると44年くらい乗っています。基本的に一人でツーリングするのが好きなんです。だって早い人と走ると怪我しちゃうだし、遅い人と走るとイライラしちゃったりじゃないですか(笑)。「一人になれる」というのがオートバイが好きな理由の一つなんです。あとは自分自身の性格的にアウトローにはなれないんですけど、オートバイに乗ると「ふっ、俺はバイクに乗ってるぜ」的なアウトローな気持ちになれる。それがオートバイの楽しいところですね。

しかしバイクも最近はずーキングが



見るからにザラついた感じがわかる塗装が、ダブルダイヤキーパーで見違えるほどツヤツヤに。

少なくて、止められないと困ってしまうので乗ることが少なくなってきたかな。今はもっぱら電車と自転車が多いです。自転車に乗る前は、オートバイに比べて遅いからイライラするんじゃないかと思ってたんです。でもどこを走ってもぜんぜんそんなことなかったですね。ビュンビュン走らないから、景色を見たりできて意外に楽しいんです。それから禅の境地と言わないまでも、無心に、何も考えないでペダルを漕いでいる瞬間があるんです。それが意外に性にあっていてみたいです。

お笑い好きな少年は

「楽しいことができたなら

いいな」で上京

僕は、もともと落語家になりたかったんです。大阪弁を覚えたかったから、大阪に就職したんです。でもすぐに広島に転動になっちゃって。なんだから



山口良一さんのクルマには、ダブルダイヤキーパーを施工させていただきました。ガラス被膜2層と、レジン被膜1層の3層構造で、深いツヤと輝き、そして強力な撥水効果をもたらします。洗車だけで3年耐久。洗車に加えて定期的にメンテナンスを行えば5年コーティングが長持ちします。